



みせん

瀬戸内海国立公園
宮島地区パーク
ボランティアの会

第79号

発行日
令和2年3月1日

◇ 目 次 ◇

P-2: 自主観察会(6) 室浜ウォーキング下見

P-2: 公募観察会 室浜ウォーキング

P-5: ミヤジマトンボ保護管理連絡協議会の活動

P-6: 会員自主観察会(7)町石調査 その2

P-8: 臨時総会・部会打合せ・自主研修会

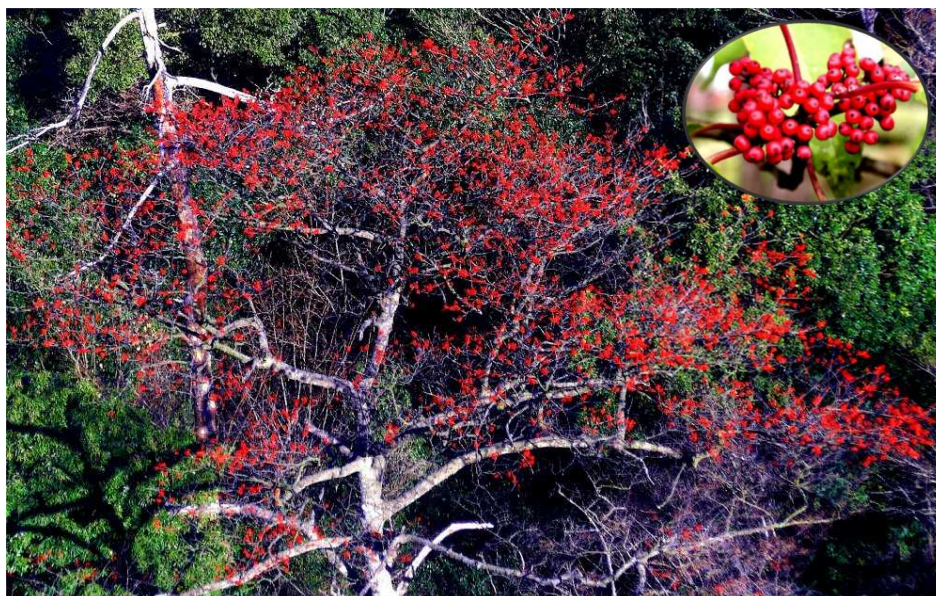
P-12: 弥山登山道清掃作業

P-13: 自主観察会(8)新春弥山登山

P-14: 自主観察会(9)野鳥観察(地御前)

P-16 投稿記事、編集後記

タマミズキ(和名玉水木)



樹形がミズキに似ていること。晩秋には果実が真赤に熟すると赤い玉がたくさん集まっているように見えることが名前の由来。樹木は落葉高木だから実は地上から見えにくいですが、幸いなことに宮島ロープウェーから観察することができます。しかし時期を過ぎると黄緑色した渡り鳥のアオバトやヒヨドリなどに食べられることがある。不謹慎であるが鳥が啄む前に正月用の生け花にすれば儲かると思ったことがある。
(写真・文 中道 勉 1月11日宮島ロープウェーから撮影)

令和2年度宮島地区PVの会・定期総会を下記の要領で開催

しますので、会員の皆様、多数ご出席ください

日 時： 4月11日(土) 9:30～12:00 (受付 9:00～)

場 所： 杉之浦市民センター

※ 欠席の人は委任状を提出してください

※ 午後から部会打合せおよび小なきり浜の観察会・清掃活動を実施します

自主観察会(6) 室浜ウォーキング(11/16)下見

日 時：11月9日(土) 9:30～12:00

天 候：晴れ

行事推進員：佐渡 中道 舛田

参加者：岩崎 小川 河野 小林(勲) 末原
 兎谷 中道 増田 村上 山本(昌)
 横路 呼坂 以上12名

公募観察会下見を行いました。



(写真：河野)

公募観察会 室浜ウォーキング

****宮島地区パークボランティアと歩く
安芸の宮島で散策ウォーキング****

日 時：11月16日(土) 9:30～15:30

天 候：晴れ

コース：大元公園～広島大学宮島自然植物
 実験所～室浜砲台跡～室浜海岸(往復8km)

行事推進員：佐渡 中道 舛田

参加者：今田 岩崎 大西 大林 小川
 黒木 河野 小林(勲) 佐藤 末原 中道
 野呂田 前田 舛田 三戸 森
 山本(昌) 横路 呼坂 以上19名

環境省：山崎自然保護官 大高下 AR

一般参加者 17名

立冬が過ぎ日中寒くなり、宮島の山々も紅葉
 し始めている時でした。

9時30分到大元公園無料休憩所で受付開始
 し、全員集合しました。

先ず環境省山崎自然保護官の挨拶があり、
 次に宮島地区パークボランティアの末原会長
 より「安芸の宮島で散策ウォーキング」の開催
 主旨説明があり、最後に観察部会小林部会長
 よりスケジュールならびに注意事項について
 説明がありました。準備運動終了後、山本会
 員に先導とガイド役を務めて頂き、9時40分
 に出発となりました。



広島大学宮島自然植物実験所へ向かう道中
 で、各会員がヤブツバキ、ハマゴウ、ミミズ
 バイ、カンザブロウノキ等について一般参加
 者や若手会員へ説明がありました。



多々良において鮮やかな紫色の果実が枝に
 びっしりと付いた「トサムラサキ」があり、
 ある会員の方が「宮島でトサムラサキの果実
 が一番美しいと言っても過言ではない」と言
 われていました。



12時30分に広島大学宮島自然植物実験所に到着し、広島大学大学院総合生命科学研究所付属宮島自然植物実験所 坪田博美准教授による「宮島の植物の種類と植生の特徴」や「山火事と植生の回復」について講義を受けました。

宮島の植物の種類と植生の特徴について

- 宮島は本土と近い位置にありながら、植物の種類が本土とは著しく異なる。
- たくさんの希少種が存在する。
- 寒いところに生育する植物と暖かいところに生育する植物が共存している。
- 希少植物でなく普通に見られる植物であっても人の影響を免れて、自然の状態で生育していることに価値がある。
- 豊かな自然植生がある：ハマゴウ群落、ヒトモトススキ群落、モミ・ミミズバイ群落、モミ・ツガ群落、コジイ群落、ヒノキ・コウヤマキ群落など
- 沢山の希少種がある反面、本土や他の島には普通に見られる植物が少ない。特に里山の植物が欠如しているかきわめて少ない。
- 人里や路傍植物の植物が少ない。

宮島は周囲約30kmの島である。一般に島は外界と隔離されていることから、島への生物の進入と定着のプロセス、それに続く生物の進化、生態遷移、帰化植物の進入と拡散が明瞭な形でとらえられる。宮島は少なくとも7世紀以降、信仰の対象として全島が保護され、人の影響をあまり受けることなく今日に至ったことと、水田耕作を中心とした農業が営まれてこなかったことで里山が見られないことが宮島の自然が保たれてきた要因である。



山火事と植生の回復について

宮島南西部御床浦付近での山火事後の植生観察した結果、植林する際に①現地の自然植生に適合した樹種の選定が必要であること②地域性種苗を活用すること③多くの樹種で混植することで宮島本来の常緑の植物が優先するうっそうとした森になることが予想されるところのこと。



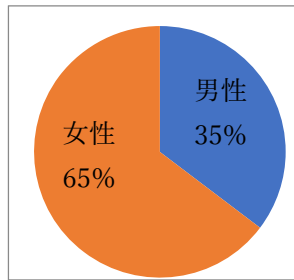
昼食後、中道会員による室浜砲台跡について当時の日本の状況から砲台建設目的等について分かりやすく説明がありました。



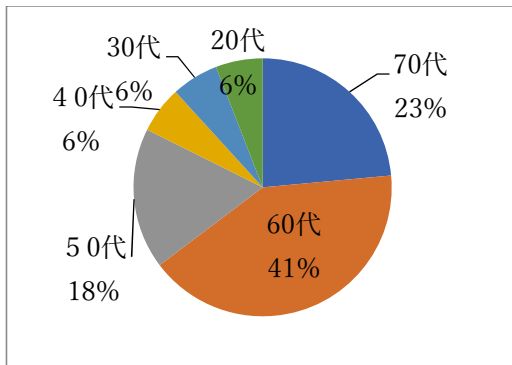
予定時刻通り3時30分に大元公園無料休憩所に全員無事に到着となりました。

(文：今田 写真：河野)

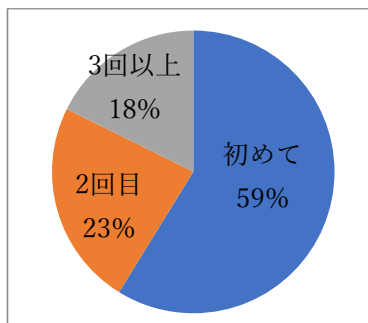
アンケート集計結果



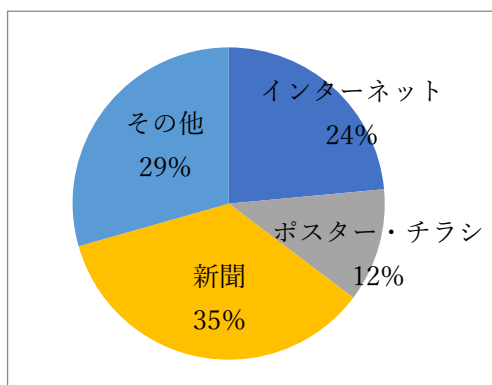
【参加者の性別】



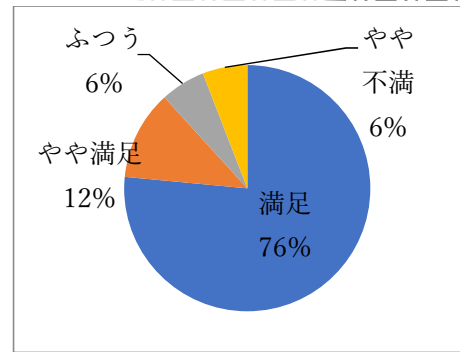
【参加者の年代】



【観察会参加回数】



【行事を知ったのは】



【行事の感想】

◇行事に対する感想・ご意見・要望等

- ・植物の勉強になりました。付いてくれたKさん、とても親切で教えて下さいました。ありがとう。同じ道を季節の異なる春までに歩いてみたいです。
- ・植物の各種説明（木々に名札あり大変わかりやすかった）、鳥の話、砲台跡の話等大変有意義で楽しかったです。観察員の方々大変親切でありがとうございました。
- ・物について色々教えていただき面白かったです。知らない、考えてなかったことを教えていただきました。
- ・良かった。又、来年も来ます。
- ・観察会の説明が良かったです。
- ・ゆっくり実物を見ながら詳しく説明して頂いた。
- ・樹々、色々教えてもらい勉強になった。
- ・説明が分かりやすかった。
- ・もう少し時間があれば宮島の歴史をもう少し詳しく伺えたらいいと思いました。が、楽しい散策でした。講師の方がとても詳しく説明して頂けて良かったです。
- ・先頭の方の説明とても良かったです。大学での話は興味のある方だけにして欲しい。
- ・7、8月に紫色に咲くハマゴウを観察したいです。写真におさめたい。良かったです。絵が描けたら良いです。花崗岩が観察したいです。宮島でスナメリを見たいです。
- ・多くの植物について詳しく説明して頂いたのが良かった。山火事から植生がどのように変わったのか、またこれからどのような研究を行っていくのか知ることができた。プレート（植物の名前が書いてあるもの）に、宮島だけで見られる植物とか、広島（本土）では見られないが宮島では見られるなど、独特な植物、特徴的な植物が分かるような印などをつけていただけると嬉しいです。（まとめ：舩田）

ミヤジマトンボ保護管理 連絡協議会の活動

ミヤジマトンボ生息湿地の獣害柵補強作業

日 時： 11 月 21 日（木） 9:30～14:30

天 候：晴れ

参加者：岩崎 大林 河野 末原 前田 森

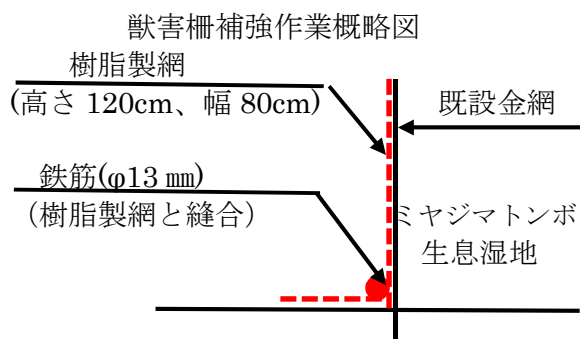
以上 6 名

環境省：大高下 AR

ミヤジマトンボ生息湿地に、イノシシとシカの獣害から生息湿地A箇所を守るために設置している獣害柵の補強作業を、ミヤジマトンボ保護管理連絡協議会員 12 名、当会員 6 名の計 18 名で実施しました。



作業内容は、イノシシの侵入が確認されたため、生息湿地外周に設置している金網柵約 110m の内 100m を二重に補強する作業で、既設金網に樹脂製網（幅 2m）を高さ 120 cm、土中の横方向に 80 cm、その根元の折れ部分に $\phi 13\text{mm}$ の鉄筋を取付けました。



補強作業は、湿地の泥に足を取られながらの網張り、鉄筋と網を縫う困難な作業でした。イノシシが歩きにくいように柵の根元部分に網を取付けたことにより、侵入防止対策に効果が上がれると思います。



（ 文：末原 写真：河野 ）

ミヤジマトンボ生息湿地の獣害柵補強作業
（ 2 回目 ）

日 時：令和 2 年 1 月 20 日（月）

9:00～14:30

天 候：くもり

参加者：黒木 末原 前田 森 以上 4 名

環境省：山崎自然保護官

ミヤジマトンボ生息湿地に、イノシシとシカの獣害から生息湿地B'箇所を守るために設

置している獣害柵補強作業を、ミヤジマトンボ保護管理連絡協議会員 11 名、当会員 4 名の計 15 名で実施しました。

作業内容は、B'箇所、南側と北側 2 箇所の、金網柵の低い部分に金網の取付けと、北側箇所の約 15m を、11 月 20 日に A 箇所で行ったのと同様に樹脂製網を取付けました。

今回の作業は、渡船が定員 12 名の小型船舶のため、当会への割当が 1 名だったので、皆様には案内しませんでした。キャンセル者が出たため、参加者を個別にお願いしたことをご了承ください。



下部ネット取付け作業



上部ネット取付け作業

(文 写真 : 末原)

会員自主観察会(7) 「町石調査 その2」

日時 : 11 月 30 日 (土) 9:00 ~ 16:00

天候 : 快晴

行事推進員 : 山本(昌) 増田

参加者 : 猪谷 岩崎 河野 小林(勲) 末原
二神 前田 増田 村上 元広 森
以上 11 名

町石解説 : 岩崎会員

コース : 紅葉谷道 ~ 弥山山頂 ~ 御山神社
~ 大聖院道

内容 ・ 町石の現状確認 保全作業
・ 失われた町石の探索
・ 町石の謎の解明

会員自主観察会の一環として、今年 3 月 2 日に実施した町石調査その 1 の第 2 段として、前回訪れることの出来なかった紅葉谷弥山道、弥山山頂辺りを中心に、前回と同様に岩崎会員による町石解説による実地観察会を行いました。前回 49 基、今回 25 基の調査で全数 74 基を巡ったことになります。



弥山山頂での集合写真



紅葉谷公園の起点道標

今回は、先ず、紅葉谷弥山道の起点道標に書かれているモニュメント（桜石へ四丁、屏風岩へ七丁、紅葉瀧へ七丁半、天然橋へ十四丁、大黒天へ十八丁）の確認も含めた調査から始めました。三丁、四丁の町石を確認したが、四丁辺りの桜石は特定出来なかった。七丁辺りの屏風岩と思しき岩、七丁半辺りの紅葉瀧らしきものも確認できた。八丁、十丁、十一丁の町石を確認後、十四丁辺りの天然橋、十八丁辺りの大黒天も確認できた。この辺りでミミズバイ測定の事前調査も併せて行いました。尾根に上がり十九丁、二十一丁の町石を確認し、二十丁の町石を全員で旧道を探したが見つからなかった。



16 丁の町石



7 丁辺りの屏風岩



7 丁半辺りの紅葉瀧

弥山山頂で昼食後、御山神社を経て、仁王門から大聖院道へ。

大聖院弥山道の町石の中で、町石研究を長年進めてきた岩崎会員にとって最も思い入れのあるのが、仁王門近くの崖下約 10m の地点に転落しているのを引き上げた元文三年(1738 年)銘のある十六丁の町石でした。岩崎会員のお話を聴き、会員一同、町石の保全と探索の重要性を再認識し今後の活動の継続を確認しました。

素晴らしい天気恵まれて、滅多に見ることができない眺望を得ることができました。遠く北は恐羅漢から吉和冠に到る芸北の山々、南は能美島越しにはるか石鎚の山並みがはっきりと見渡せました。

紅葉の名残りを楽しみながら、又、白糸川滝宮神社前の鮮やかな紫色の果実をびっしりと枝に付けたトサムラサキの群生に感動し、紅一点を含む 11 名の参加者全員、充実した一日を過ごすことが出来ました。



滝宮神社前のトサムラサキの群生

(文：猪谷 写真：河野)

《町石調査記録》

- ①前回も含め 町石全 74 基を確認する
- ②町石の保全状況
 - ・紅葉谷二十一丁の町石は倒木の下にあるが現状倒壊の恐れなし
 - ・御山神社の町石は石仏として祀られているが台座に不安定に置かれている。

《考察》

江戸時代 弥山本堂まで登り十八丁、頂上まで含めてもあと 3 丁、21 丁にしかないのに何故 二十二丁や二十三丁の慶長町石が存在するのだろうか？ しかも建立時のとは違った場所で、大きな疑問だ。答えは 弥山本堂から折り返し仁王門を通り奥の院まで二十八丁の町石が続いていたからである。後の時代に土石流災害で町石が流されたとき仏の刻んだ町石を拾い集め大切に頂上まで祀り直したのだと推察されます。町石の詳しい内容は HP「宮島弥山町石めぐり」で検索して知ることができます。（ 文：岩崎 ）

臨時総会・部会打合せ ・自主研修会

「会員の集い」は「臨時総会・部会打合せ」に変えて 開催されました。

日 時：12 月 7 日(土) 9:00～11:40

場 所：宮島市民センター3F 研修室

出席者：麻生 今田 岩崎 大西 大林 小方(為)
小方(嗣) 小川 奥田 恩田 金山 北野 黒木
河野 小林(勲) 小林(み) 佐渡 佐藤 島 末原
田中 田内 兎谷 中道 野呂田 穂井田 前田
舩田 森 山本(昌) 横路

以上 31 名(委任状提出者を除く)

環境省：山崎自然保護官 大高下 AR



(1) 9:15 全体打ち合わせ

山崎自然保護官挨拶：

今年一年のご尽力に感謝申し上げます。次年度の活動に向けて楽しく活発になるように話し合いをお願いします。来年は 20 周年。良いところは引継ぎさらに活性化できるように宜しくお願いします。

末原会長趣旨説明：

1 年間ご協力に感謝します。今年も無事故・無違反で 20 年間活動できたことにも感謝します。

会員の動静は 13 番川上会員、48 番吉崎環境整備部会長が退会し、現在 47 名。本日は臨時総会を開催して次期の環境整備部会長を選任します。

みせん 20 周年記念号作成予定です。

20 年経ち高齢化が進み、活動参加者数が減少傾向ですので来年度の活動計画にアイデアを反映させたい。

今年度の GGG 国立公園支援事業助成金を活用して当会パンフレット 2000 部を作成した。次年度は樹木名板プレートの申請予定です。

今年度の活動概況報告：

小林観察部会長、末原環境整備部会長代理、岩崎広報部会長より活動状況の報告と、皆さんの参加がないと成り立たないので宜しくお願いしますとの挨拶がありました。

(2) 9:40 部会打ち合わせ

- ・ R2 年度活動計画立案の意見交換・提案
- ・ 環境整備部会長の選出



観察部会の会合



環境整備部会の会合



広報部会の会合

(3)11:00 臨時幹事会～臨時総会

臨時総会には、出席者 31 名、委任状 12 名で全会員数 47 名の半数以上であり、本会会則第 5 条第 1 項の規定に基づき総会は成立しました。なお、環境省広島事務所山崎保護官、大高下 AR も出席されました。

総会で審議した役員の環境整備部会長には、会員番号⑱番の河野会員が承認されました。

環境整備部会長 新任ご挨拶 河野進

この度、環境整備部の前部会長 吉崎会員の退会に伴い、同部会長に選任されました。まだ経験が浅く至らぬことがあるかと思いますが、よろしくお願い致します。

昨年 12 月の臨時総会でも申しあげたことですが、行事参加率が最近少し下がっており、なんとかして参加率を上げたいと思います。要因として、会員の高齢化、行事内容のマンネリ化などが挙げられるかと思いますが。部会打合せで、行事内容の見直しによる作業の時間と量の低減、開催曜日の変更、行事の隔年実施などのご意見があり、これらを来年度行事に反映していきたいと思っています。そのほか重要なのは、より楽しく感じ、より有意義と

思えるように既存行事の内容を変更することや、魅力ある新行事の創出です。会員の皆様のアイデア、要望をお聞かせください。

私は「貴重な宮島の自然と歴史遺産を次世代に、100 年後に残すため」をモットーに、微力でもボランティアとして今できることを提案して行きたいと思います。ご協力の程よろしくお願い致します。

(4) 会員 15 年表彰

⑳番佐渡会員、㉔番佐藤会員、㉗番横路会員の 3 名に山崎保護官より賞状が手渡されました。



◇ 15 年表彰受賞記念者より一言 ◇

佐渡会員

あっという間の 15 年でした。転勤族でしたから営業活動をしながら全国を転々として平成 12 年に仕事を終えて広島に帰ってきました。現役時代から定年後はボランティア活動をするつもりでいましたので早速地元廿日市市や広島市での活動を始めました。

丁度その頃 宮島地区パークボランティア入会の案内をみて 宮島だと我が家から近いし自然相手で山の好きな自分にぴったりだと単純な動機で平成 16 年 4 月に宮島地区パークボランティアに入会したのです。早速観察部に所属したのですが、植物干潟野鳥いずれも得意でなく何時までたってもリーダーが出来なくて申し訳なく思っています。公募観察会に参加した際に何時も思うのですがリーダーの方の博識ぶりに感心しております。ミヤジマトンボ生息湿地整備作業を続けておられる会員の方も立派な活動だと思います。この度永年のパークボランティア活動をしたということで環境省より感謝状を頂きました。

宮島地区パークボランティアの会が出来て 20 年、卒業された先輩会員の方現会員の方々のおかげだと私の方が感謝したい気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。

佐藤会員

宮島、中でも自然に親しむ弥山に登られる人は①信仰の人②登山を楽しむ人③散策される人④観光の人。そして⑤宮島の自然を守る人に分類できると思います。

来島者の 80%以上は厳島神社です。ちょっと複雑な気持ちで「PV活動」と「神社寺院ガイド」を 16 年やっています。何年経っても飽きの来ないのが宮島です。来島の度、新鮮な気持ちになります。

横路会員

私のパークボランティア活動は、2005 年に発生した「白糸川土砂災害」の復旧活動から始まっています。

昨今の季節の移ろいの変化や自然災害の多発に、自然の力とその脅威を感じています。その原因の 1 つに、私たちが生活の効率と過度の利便性を追求して来たことが少なからず影響を与えていると思われます。

今後もパークボランティア活動を通して、より自然環境を大切に作る心を育まなければならないと強く思っています。

◇環境省からのお知らせ

- ・会員の更新手続きのこと
- ・瀬戸内海国立公園アクティブレングジャー主催パネル展を宮島水族館で 2/28～4/5 開催
(文 写真：麻生)

自主研修会

日 時：12 月 7 日(土) 12:40～14:20

場 所：宮島市民センター 3F 研修室

行事推進員：麻生、五石

参加者：麻生 岩崎 大西 大林 小方(為)

小方(嗣) 小川 奥田 金山 北野 黒木

河野 小林(勲) 小林(み) 佐渡 佐藤 島

末原 田中 田内 中道 野呂田 穂井田

前田 舩田 森 山本(昌) 横路 以上 28 名

環境省:山崎自然保護官、大高下 AR

1. 講演「みやじまゆかりの俳人・正岡子規」

(講師：黒木会員)

2. 応募俳句の表彰

1. 講演「みやじまゆかりの俳人・正岡子規」

講師の黒木会員から資料とスライドを使って正岡子規の俳句や生涯のお話を 1 時間にわたり聞かせて頂きました。ご講演の私なりの要約をここに記させていただきます。



正岡子規に関する私の知識は、「明治時代の松山の俳人」程度でしたが、今回の講演で、宮島や広島に何度も来られて、県内にはいくつもの句碑があることを初めて知りました。

宮島の千畳閣前の句碑（現在は立ち入り禁止）には「汐満ちて鳥居の霞む入江哉」が刻まれており、宮島では「ゆらゆらと回廊浮くや秋の汐」、「宮島の神殿はしる小鹿かな」など、また、広島では「行かば我筆の花散る処まで」、呉では「大船や波あたたかに鷗浮く」などが詠まれています。

16 歳で勉学のため松山から上京、肺結核で咯血するまで熱心に野球を楽しんでいます。そう言えば、東京・上野公園内には正岡子規記念球場があります。

25 歳で東京帝国大学を退学して日本新聞社に入り、28 歳の時に日清戦争の従軍記者として広島から中国に渡りました。程なくして帰国となり、その船中で大咯血し、神戸で 3 か月ほど療養して松山に戻っています。神戸時代では、非常に有名な句「柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺」や「桔梗活けてしばらく仮の書斎かな」などが詠われています。

松山では、夏目漱石の下宿「愚陀仏庵」に転がり込み、約二か月そこで毎日句会を開き、そこには漱石も加わっていました。

その後、東京の子規庵に移り、俳句三昧の生活を送っていましたが、結核の病状が悪化し、脊椎カリエスも発症して臀部や背中から膿が流れ出るようになりました。包帯を替えるときには痛みで大声を出し、寝返りも天井から垂らした綱を持っておこなっていました。妹「律」が献身的に看病しています。

亡くなる年には、「果物帖」や「草花帖」などの写真画を描いています。死の2日前まで新聞に随筆「病床六尺」を100日以上書き続けました。死の前日には寝たまま、板に張り付けた紙をかざしてもらい、筆で「絶筆三句」をしたためています。「糸瓜咲て痰のつまりし佛かな」、「痰一斗糸瓜の水も間にあわず」、「をととひのへちまの水も取らざりき」

35歳を前にして若くして世を去りましたが、俳句に懸ける情熱（執念）のすごさ、壮絶な生き方に胸打たれました。

黒木会員ご講演ありがとうございました。

2. 応募俳句の表彰

会として初めての行事の《「宮島の四季」を詠う俳句の募集》が行われ、応募句数66句（応募者16名）がありました。選考委員は末原会長、黒木会員、大林会員の3名で、最優秀賞1句、優秀賞2句、佳作10句が選ばれました。黒木会員から選ばれた13句の良い点や惜しまれる点などの評論があり、最優秀賞者と優秀賞者は黒木会員の句の短冊と図書券が送られました。



最優秀賞受賞の森会員

私としては、このような機会を作ってもらえたことに感謝します。山に登った時やこの会の行事に参加した時の印象や思いを言葉として表わし、残すことができ大変良かったです。このような機会がないと言葉にしようと思いませんでした。応募したものは俳句とは程遠いものばかりですが、良い記録になり

ました。中でも、一番気に入っている（思いがこもっている）のは「拾っても拾ってもプラスチックごみ」です。

黒木会員はじめ主催者の皆様、楽しい企画をありがとうございました。また、お世話になりました。

入選作は、次の通りです。

最優秀賞（一句）	
羊歯繁る戦（いくさ）知らずの砲台跡	（森 弘）
優秀賞（二句）	
汐まねき400万の踵（かかと）見る	（村上 光春）
秋の鷹上昇気流のはるかなり	（大西 順子）
佳作（十句）	
弁天の鳥居見やりつ島苗	（岩崎 義一）
半夏生分け行く鹿の白毛（はくげ）かな	（横路 晃）
花吹雪見上げて歩む裏参道	（二神 朋子）
桔梗咲く岩場の下に海の青	（小川 加代）
悠々と弥山の頂き秋茜	（三戸 久治）
紅葉のひろがりゆきて空の青	（田中 敏子）
雪残る砲台跡の赤煉瓦	（川崎 昭壽）
ミサゴ舞う岬に白き馬酔木かな	（川崎 昭壽）
御足に春の光の阿弥陀様	（川崎 昭壽）
コスモスの花無く寂しいつくしま	（佐藤 庸夫）

（ 文：森 写真：河野、麻生 ）

年末懇親会

例年通りに藤の棚「山村茶屋」で、焼きカキ、おでん、うどん、アナゴ丼、オムライス等の飲食をしながら懇親を深めました。16名の参加がありました。



焼き牡蠣とお酒で談笑



茶屋のなかでも
(文：麻生 写真：河野)



(写真：末原)

弥山登山道清掃作業

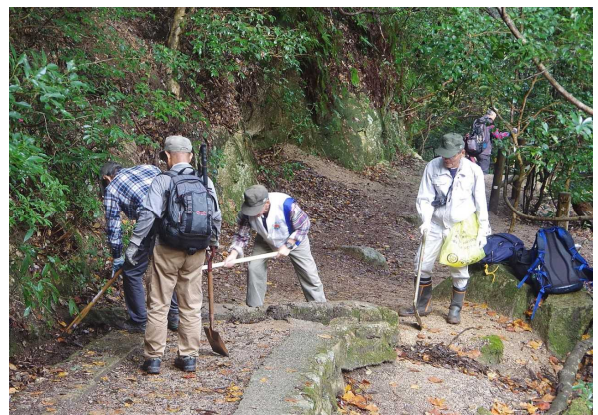
日 時：12月18日(水) 9:00～14:00

場 所：紅葉谷コース
(登山口～12号堰堤辺り)

天候：曇り一時雨、のち晴れ

行事推進員：河野、森

参加者：岩崎 大林 小方(嗣) 黒木 河野
佐渡 末原 二神 前田 増田 三戸 森
以上12名



(写真：河野)

参加者は、今回もやや少なめの12人でした。いつもの獅子岩駅～弥山山頂～大聖院の登山道清掃を予定して、清掃道具を持ってロープウェー乗り場に向かう途中、末原会長が乗り場の係の人に参加人数を連絡したところ、今日は整備・点検で運休しているとの返事。(翌日、末原会長が問合わせると、整備・点検が延びて運休せざるを得なくなってしまい、申し訳ないとお詫びの言葉があったとのことです。) 厳島神社裏の三翁神社の前の広場で、これからどうするか相談し、清掃終了時間を勘案して紅葉谷コースを登れるところまで行き、そこから下りながら登山道を清掃することにしました。

曇り空の中、12号堰堤(ほぼ12丁辺り)まで登り、下りながら清掃を始めました。登山道の清掃と溝の土砂や枯れ葉の除去を行いましたが、前日の雨で枯れ葉や土は重たく、地面に張り付いた濡れ落ち葉は剥がれにくく、力のいる作業となりました。

しばらく作業をしていると、空が暗くなり雨が降り出しました。天気予報では曇りのち晴れだったのに。しばらく木の下で雨宿りしていると、雨は上がり、作業再開となりました。中には、合羽を着て作業を続ける人もおられました。9号堰堤辺りで12時近くとなり、昼食をとって、記念撮影をしました。このころには、青空も見え、暖かく風もなかったので、午後の作業はずいぶんとはかどりました。

予想外の雨も降る天気でしたが、10組を超える登山者がおられ、そのうち半数くらいは外国の方でした。

ロープウェーの運休と降雨というハプニングがありましたが、12号堰堤から登山口までの約1kmの登山道を清掃し、奥紅葉谷公園で解散しました。

初めての紅葉谷コースの清掃に参加された皆様、大変お疲れ様でした。



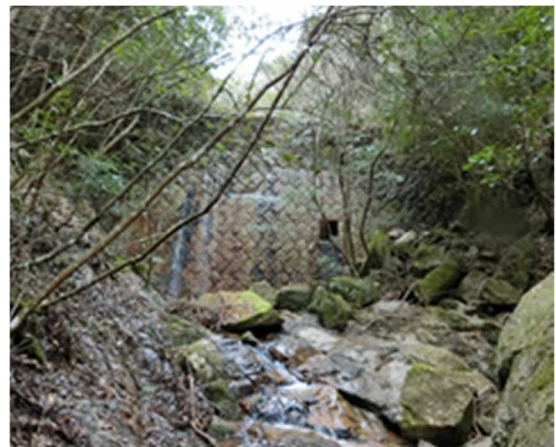
(写真：河野)

(文：森 写真：末原、河野)



6号堰堤 (野面石積)

10:00 7号堰堤 (谷積)



7号堰堤 (谷積)

自主観察会(8) 新春弥山登山

日時：令和2年1月11日(土) 9:00～16:00

天候：晴れ

行事推進員：黒木 増田 元広

参加者：今田 岩崎 小方(為) 黒木 河野

小林(勗) 佐渡 兎谷 中道 前田

増田 村上 山本昌 横路 以上14名

今日は晴天で登山日和、岩崎副会長の「今年も安全第一で頑張りましょう」の挨拶で始まる。紅葉谷公園を9:45に出発をする。私は個人的に今日は堰堤の石積みをチェックしながら歩くことにした。資料によると紅葉谷川沿いの堰堤は野面石積4基、谷積12基とのこと。野面石積とは自然の石をそのまま積み上げて石垣を築く。谷積とは加工した石材を谷のように落とし込み、石同士のかみ合わせ効果を発揮しながら積み上げる。

9:50 3号堰堤(谷積) 急な登坂が始まる。厳島神社防火水槽が右側に見える。ここの石垣は布積である(四角い石に整形した比較的大きな石を目が横に通るように積み上げる工法)。

9:55 4号堰堤(谷積)

9:57 6号堰堤(野面石積) ホウロクイチゴは葉だけ、ヤブムラサキは冬芽が目立つ。弥山原始林石碑があり、鬱蒼とした林の中ですが川の水の音で心が洗われるようだ。

10:10 8号堰堤(谷積)

ヤブツバキの花が一輪落ちていた。周りを探してみたがどの木か判らなかった。藪とは野生の意味で山野に自生する椿の事です。ウマノケタケを発見、髪の毛のようですがキノコです。(ホウライタケ科)

10:20 9号堰堤(野面石積) 標高200m前後

10:30 11号堰堤(野面石積)

10:35 12号堰堤(谷積)

10:45 13号堰堤(野面石積)

クロバイも見えてきた。

11:15 14号堰堤(野面石積)

ロープウェイ方面との合流地点に弥山原始林石碑あり、マツブサも確認する。大師堂で休憩し、弥山山頂12:30で昼食。



ミミズバイ観測木①の測定 (河野)



霊火堂前で集合写真 (河野)

(文 : 小林(颯) 写真 : 小林(颯)、河野)

ミミズバイの測定記録 まとめ : 岩崎

名称	番号	樹高 (cm)	幹周 り (cm)	場所	標高 (m)
大黒天	①	121	4.8	大黒天上 左側	385
15号	②	93	4.6	15号堰堤 上 右側	370
大岩下	③	180	8.8	14号堰堤 上 右側	350
13号上	④	208	9.6	13号堰堤 上 右側	330
13号	⑤	225	6.8	13号堰堤 右側	320

今回より 標高の高いものから順に表示
 ③は道沿いの為 先端部が切断されている
 ⑤別に大木(13m 31cm)有り
 植物マップ (2011年版) 作成時点の最高地点
 ミミズバイは ④にあたりました
 くぐり岩の記録 191(cm)

新春弥山登山

令和2年1月11日

青空の弥山に十四の御慶かな

救難のへり旋回す初弥山

霊水の汲水場を浚う礼者かな

黒木 隆信

自主観察会(9)

野鳥観察(地御前)

日時 : 令和2年2月1日 (土)

天候 : 晴れ時々曇り

行事推進員 : 大西 穂井田

参加者 : 岩崎 大西 小方(為) 小方(嗣) 小川
 北野 小林(颯) 小林(み) 佐藤 嶋谷 末原
 穂井田 三戸 村上 横路 以上 15名

コース : 地御前神社前周辺～港～調整池
 ～御手洗川河口

廿日市市地御前神社前に集合しました。本日のインタープリターは大西会員と穂井田会員です。まず、資料をいただきましたが、カラープリントで、カモがいっぱいです。平成28年の時も説明されましたが、今回は、水面採餌ガモと潜水採餌ガモの写真付きで解説がありました。

広電の踏切を渡ったところにユリカモメ、ズグロカモメ、セグロカモメが、わずかな干潟で仲良く遊んでいます。一緒にいると違いがよくわかります。ヨットやカキ工場のある港近くでは、オオバンがゆったりと泳ぎ、アオサギがじっと佇みいい時を過ごしています。カキ殻が山に積まれているところでは、雑食のユリカモメやハシボソガラスなどが残り物をついばんでいて、人と野鳥の食の自然な繋がりを感じました。

民家の近くを歩いている時、ジョウビタキの♂と♀を見ることができました。以前、電線に留まっているギンムクドリを見たのはつい

この前のように思えますが、5年前の平成27年1月31日のことで、その後は一度も観察されていないらしい。貴重な出会いを思い出しました。

さて、調整池には、ことしもカワセミがいました。双眼鏡では見えなかった頭部の点々の模様が、フィールド スコープではよく見えてとても綺麗です。眼下の海にはマガモがいます。その頭が緑色ではなくて紫色に見えます。これは「こうぞうしょく」ということでしたから、光の造る色（光造色）かと思いきや構造色ということでした。

カワウは瞬膜というゴーグルをつけて水に潜るということです。とても便利ですね。人は、ゴーグルをはめたりはずしたりは手を使いますが、鳥は半透明なまぶたを閉じるだけで簡単にゴーグルセット完了になり、この膜のおかげで水中でも視界が良好で狩りがしやすいということです。

この日出会えた鳥ですが、参加者15人の30の目に双眼鏡をつけて鶉の目鷹の目で見ましたが、いつもより若干少なくて、計38種でした。上記以外は、オオヨシガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、スズガモ、ウミアイサ、カンムリカイツブリ、キジバト、ダイサギ、コサギ、イソシギ、ハマシギ、ウミネコ、カモメ、ミサゴ、トビ、ヒヨドリ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、イソヒヨドリ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワでした。



写真のマガモの頭がふだんは緑色なのに紫色に見えて撮りました（小方）



観察風景（岩崎）



カモの群れ（大西）



カワセミ（大西）

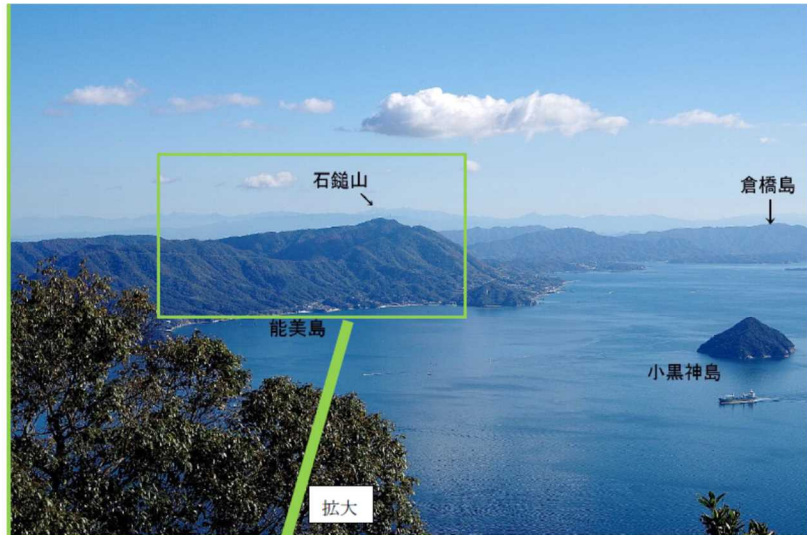


ズグロカモメ（大西）

（文：小方(嗣) 写真：小方(嗣)、大西 岩崎）

*** 投稿 ***

絶景！宮島の弥山山頂展望台から見た石鎚山です。2019年11月30日(土)13時23分ごろ。
能美島(野登呂山 542m)の上に四国高縄山が見え、さらにその上に四国山脈(笹ヶ峰：1860m、
瓶ヶ森：1897m、石鎚山：1982m、二ノ森：1930m)が見えました。年数回、黄砂のない秋晴れ
の日に見えると言われています。今日はラッキーでした。(文、写真：河野)



◇ 編集後記 ◇

韓国からの観光客の減少に加えて、コロナウイルスの発生で中国からのお客さんも減少。でも、長い目で見れば宮島は素晴らしい世界遺産の島なので、今にも増して観光客が増えると思っています。活動を通して少しでもお役に立てばと思っています。(麻生)

瀬戸内海国立公園

宮島地区パークボランティアの会

事務局：環境省 中国四国地方
環境事務所 広島事務所
(〒730-0012)

広島市中区上八丁堀 6 番 30 号
広島合同庁舎 3 号館 1 階

TEL082-223-7450、FAX082-211-0455